

第 5 回安曇野市消防委員会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市消防委員会
- 2 日 時 平成 21 年 3 月 26 日 午後 6 時 30 分から午後 7 時 50 分まで
- 3 会 場 堀金総合支所 第 301 大会議室
- 4 出 席 者 筈井郁男委員、中野博夫委員、横内好昭委員、宮下 勝委員、畠山忠幸委員
塚田茂利委員、丸山重隆委員、水上 洋委員、帯刀 隆委員 丸山一雄委員
櫻井貞文委員
- 5 市側出席者 危機管理室長、消防防災係長、加々美主査、中澤主査
- 6 公開・非公開の別 公 開
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 21 年 4 月 6 日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 会議事項
 - (1) 新消防委員紹介
 - (2) 消防団幹部会議における現在までの会議内容について
 - (3) 消防団の組織体制について
 - (4) その他
 - 8 閉 会
- 2 審議概要
- (1) 新消防委員紹介（危機管理室長）
松本広域消防局 警防課長 櫻井貞文委員（平成 21 年 3 月 2 日付 委嘱）
 - (2) 消防団幹部会議における現在までの会議内容について（団長より詳細を説明）
消防団幹部会議なかで検討を重ねた結果、別紙資料の組織案の第 1 案・第 5 案に決定した。
内容 団長は 1 名、副団長は 4 名のうち副団長 1 名が本部長を兼ねる。
現在の各部の長が副分団長という階級から部の長は部長とする。

最終的には 6-2 案になると思うが、合併して 3 年ほどの現在では非常に厳しい。現在考え得る最善の策として別紙 2 の組織体制が良いと考える。

今までの経過として、副団長がいない地区また、一つの地域から団長・副団長がいる地区等のバランスを考えて各地区から団長または副団長を選出する今回の案で決まった。

(3) 消防団の組織体制について
小林委員 副団長が 4 名になるが、仕事の内容は？（現在は浮いている感がある。）
→ 団長 現在は方面隊長と絡む部分があるため浮いているように見えるが、本来は団長を補佐するのが仕事。新体制では、副団長は方面隊と切り離して本部運営等を行うことが任務となる。

中野委員 現在の団長（1）副団長（3）方面隊長（5）という組織の体制は当時の幹部で多数決で決まった経緯があるが、組織というもの多数決では決められない。ある程度会議の中で協議をしなければならないと思う。団長（1）副団長（4）という形もそうだが、幹部の数を変更する場合は慎重にしなければいけない。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2 週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

→ 団長 副団長を5人から3人にした時の経過はどうあれ、今回は多数決でなく全員一致で決まったことです。

丸山（重）委員 最初、この案を見て本部長の役割が大変だと思ったが説明・詳細を聞いて、役割分担をはっきりさせれば、うまく回っていくと思う。団長・副団長が本部としての責任を果たせばこの案で良いと思う。

中野委員 本部長の役割について・・・？

→ 団長 現在は消防団事務について、100%頼っているので、これからはある程度の事務は消防団でもやらないといけないと考える。

横内委員 本部長については、旧明科町消防団でも本部長がおり、団員の面倒を見たり、団と行政の間に入って調整をしており、重要な役職であると認識している。

小林委員 行政とのパイプ役は団長ではないか。

→ 団長 主だったパイプ役は団長の仕事であるが、ポンプ操法大会や出初式といった行事等の事務方との調整については、本部長が担当する。

櫻井委員 現職からこういう意見があって、委員の皆さんも現職を経験してOBとして消防団員のことを考え、この場にいらっしやるとは思いますが、念頭におかなければいけないのは下の団員の皆さんが幹部の指揮命令系統で動ける形にしなければならない。まずは現場活動で動けるようにしなければならない。名前や運営方法・役職は後からでも考えられるのではないか。

小林委員 本部長という役職は良いと思う。ただし副団長の役割を明確にしなければいけない。

櫻井委員 松本市消防団の現状を説明しますが、私が担当していた当時、松本市には副団長が5人いて、それぞれに総務・会計等の担当を持っていた。その中で総務担当をしている副団長が筆頭の副団長という感じではあった。

畠山委員 本部長・副団長の役割が確立できればこの案で良いと思うが、細かいところの改善の余地はあるが、基本的にはこの案でよいと思う。

丸山（重）委員 職務担当・地域担当をしっかりと決めれば良いと思う。

委員長 役割については、消防団幹部で後々明確にさせていただくということで、消防団幹部で決めたこの案でよろしいか。

全員一致で了承。

中野委員 今はサラリーマン団員が多いので、あまり無理の掛からないような形でお願いしたい。本部の役割も分かるが、ウエイトを背負わせないようにお願いしたい。

→ 団長 平成22年度からは、テスト期間だと考えているので、そこら辺を踏まえていきたい。

(4) その他

- ・平成21年度安曇野市消防団事業計画の説明（事務局より）
- ・安曇野市災害時医療救護活動マニュアルの説明（事務局より）マニュアルの配布